



12月のほけんだより



令和2年12月1日発行
かわぐち社の保育園
看護師 田口 睦

年の瀬を迎え、何かとあわただしい12月。生活リズムが崩れがちで感染症も流行る時期ですが、子どもたちにとってはクリスマスに年越しと、お楽しみがいっぱいの月ですね。コロナウイルスも再流行していますので、体調管理には十分気をつけて楽しくお過ごしください。

コロナウイルスに関する対応について

寒くなってきたと同時に、コロナウイルス感染症の陽性患者が急増してきました。当園でも、手洗いや手指消毒、玩具や保育室の消毒を強化しています。
つきましては、以下の場合、速やかに保育園まで連絡の上、お子様に関しましては、登園の自粛をお願いいたします。

- 同居者が、コロナウイルス感染症の濃厚接触者に特定された場合。
- 同居者が、コロナウイルス感染症疑いのため、PCR検査を施行することになった場合。

早期の対応をするために、ご理解とご協力をお願いいたします。

ノロウイルスに要注意

ノロウイルスは、通常10月から2月ごろまで感染のシーズンが続きます。ウイルスは二枚貝に蓄積されますが、貝類からの感染より、感染者のおう吐物、排せつ物からうつる2次感染のケースが多いようです。保育園でも、毎年胃腸炎として流行しますが、大概はノロウイルスによる感染です。

感染すると、激しい下痢やおう吐、腹痛があり、発熱も伴うこともあります。今のところ、感染予防のワクチンや治療薬は開発されていないため、症状が出たら水分を補給しながら回復を待つしかありません。予防としては、二枚貝は加熱して食べる、また食事の際にはせっけんでよく手を洗う、などです。ノロウイルスを殺すことはできませんが、手から洗い流すことができます。

症状が回復しても、その後1週間～1か月間、排せつ物とともにウイルスが体外に出るといわれています。発症から1か月ほどは排せつ物に触れないように気をつけ、触れる危険性がある場所は、塩素系消毒剤で消毒しましょう。

やけどにご注意

寒くなり、暖房器具や加湿器（スチーム式）を使用しているご家庭もあるかと思います。ちょっと目を離した瞬間に、大人が予想もしない行動をとることがあります。子どもの手が届かない場所に置いたり、柵を使用したりと安全に配慮しましょう。

もうすぐ年越し

子どもたちが心待ちにしているクリスマスにお正月。年末年始は、外出や来客なども多く、生活リズムが乱れがちです。保育園が始まる数日前からは、早寝早起きを心がけ、規則的な生活リズムに戻しておきましょう。新しい年、また元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。